

2018年8月4日 (土)

BIO Mimetics

バイオミメティクス市民セミナー・対話篇

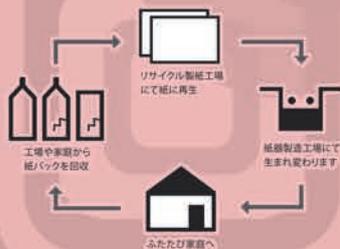
第80回 北海道とバイオミメティクスを考える その4 デザインとバイオミメティクス



素朴さ そのまま。

MILKRAFT

牛乳パックなどのリサイクル再生紙から生まれました。



牛乳パックの再生紙から生まれた、札幌発のパッケージブランド「ミルクラフト」をご存知でしょうか？ミルクラフトは、地元企業と地元クリエイターの協働によって2008年に誕生し、現在は国内外の様々なパッケージに採用されたり、デザイナーが手がけるオリジナルBOXの販売などにも展開されています。私はブランド立ち上げから軌道に乗るまでの約4年間、プロジェクトの特徴、地域の様々な特性を持ったクリエイターとの協働、箱の価値、持続可能な箱ブランドの意味、を考え問い続けたプロセスに携わりました。

本セミナーでは、地方発の紙パッケージの取り組みから見る持続可能な活動についてお話しできたらと思います。



インタラクシヨンの視点で デザインする持続可能な パッケージング

福田 大年

札幌市立大学 デザイン学部

主催：北海道大学総合博物館
共催：高分子学会北海道支部
北海道大学 電子科学研究所
特定非営利活動法人バイオミメティクス推進協議会
協賛：千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター
北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先：TEL.011-706-2658 FAX.011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

会場：北海道大学総合博物館/1階 「知の交流」
札幌市北区北10条西8丁目

時間：午後1時30分から午後3時30分